

2013年3月15日発行

K

(社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

3 2013
March
No.250

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[25.2.1現在]

3,679名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告 P4▶会員ライフサポート部活動報告38報 P5▶会長行動報告 p6▶新人教育プログラム p7▶学会情報
P8▶研修会・講習会 P11▶information P13▶理事会報告 P20▶ちよいんと／解剖とぼれ話 P21▶洋書よみましょ P22▶求人案内
P28▶編集後記／原稿・広告送付先

巻頭言



理学療法士の未来を考えよう

横須賀共済病院 リハビリテーション科
渡部 政司

昨年、理学療法士の行っている仕事としていくつかの話を聞くことがあった。その内容は今まで理学療法士がすることとは考えていないことだったので正直驚いた。どのような内容だったかというところ理学療法士・作業療法士が大勢雇用されている施設でスタッフが行っていることが、患者さんの障害・問題を解決・改善することではなく看護助手と同様のヘルパー業務だったということと、理学療法士が夜勤をしてその業務がまた看護助手と同様の内容だということだった。仕事を始めて30年を過ぎたが、時の流れの中で度重なる診療報酬改訂、介護保険制度の導入などにより仕事の仕方や分野が少しずつは変化していたが、仕事としては患者さんの持つ障害の改善や能力の有効利用を通してQOL向上に貢献することに大きな違いはなかった。

この理学療法士等が介護職同様として働くという動きがどの程度本当のことなのかは真偽の程は定かではなく、単なる噂話の域を出ないことなのかもわからないが、回復期リハビリテーション病棟の制度が導入されてから生活介護の場面に介入する機会は増加してきているとは感じている。そこには対象の状態を評価し、改善するための計画立案・実施をし、その結果・効果判定をする一連のプロセスの中で必要なこととしての必然性があると思う。しかしながら、高度な専門性を持った理学療法士が純粋な介護要員として働かされるという動きにはたとえ噂話であっても強い危惧を感じざるを得ない。というのは、病院経営をする側の立場として考えれば、高い能力を持った職種が日常の世話をしながら療養できるということは強い売りになるだろうし、その中で計画性を持って20分以上の介入を行っていれば疾患群リハビリテーション料の算定ができる可能性を持つことは収入の面でも魅力となりうるだろう。可能性としてこのような施設が増加していくことは、毎年理学療法士の国家試験合格者数から見ても低いものではな

いと考えられる。

私自身はこういった理学療法士を介護要員として使うという動きが進むことは理学療法士自身の将来や、理学療法が必要となった方達を考えたときに良いことではないと思っている。やはり理学療法士の仕事は病気をした方、障害を持ってしまった方達の未来、生活を高める働きかけを行っていくことであって、そういった仕事ができる体制が対象となる方達の利益につながるものであり、目の前の患者さん・利用者さんにとって場当たりの介護をするものではないと思う。理学療法士を介護職として使おうというような動きが現れる背景には現行の医療保険、介護保険制度等の体制や、医療の中でのマンパワーの問題などがあると考えられる。このような業務形態の中では理学療法士の知識・技能の向上は見込めず、結果として質の低下が進むと感じている。

昨年の国政選挙では多くの政党が選挙に参加し、様々な選挙公約を掲げていた。残念ながらリハビリテーション関連、理学療法士に関連するような制度改革・改善を謳った公約を私は見いだせなかった。我々が働きやすく、多くの市民の方々へ我々の技能を提供できる社会体制を実現するためには法令で決定された事を実施している行政機関に対して働きかけるのではなく、制度決定する場へ我々の声を届けることが重要であり、多くの市民に理学療法士の仕事を正しく認識してもらうことが必要だと思う。また理学療法士はその対象となる方々のために存在する意義があるのだから、学術研究、技能研修が内輪のものだけにならないよう、その先には常に対象となる方達の利益を考える必要があり、その成果を広く市民に伝えていく努力を惜しまないことも忘れてはならないことだろう。

今年の7月には次の国政選挙が控えている。私達理学療法士の未来と対象となる方達の利益のために是非賢明な参政権を行使して頂きたい。

活動報告

関東障害者陸上選手権を見学して

神奈川県警友会けいゆう病院 リハビリテーション科
理学療法士 倉坪 亮太

今回、平成24年7月7日に大井陸上競技場にて行われた関東身体障害者陸上競技大会の見学会があり、参加させていただきました。私自身も高校・大学と陸上短距離を経験していたため、今回の案内は魅力的でした。

当日は、横浜市立市民病院PT駒場佳世子先生を中心とした案内により、競技を見させていただきました。その後、競技後の選手との交流や担当の義肢装具士さんが義足調整で留意した点などを説明して下さいました。直接話を聞くことができた選手は、下腿・大腿義足を使用した選手を中心に視覚障害の選手、車椅子競技の選手など多岐にわたりました。

選手の競技している姿は、映像で見るよりも迫力があり、さらに「そこに気を配っているのか!」「こんな高いパフォーマンスができるの?」という新たな発見ばかりでした。例として、股離断選手の疾走、義手選手の疾走時の手の重要性、大腿切断選手の残存下肢のみでの走り高跳び時の踏み切りや砲丸投げ用の大腿義足の膝継手の角度などです。また、全力で競技して、結果に一喜一憂している姿は、とても生き生きとしていました。

北京五輪では、両側カーボン製板バネ式足部を使用した下腿切断選手の400m選手の出場に関して大きく取り上げられました。「バネの義足だから疲労蓄積が健常選手と異なる。だから義足はドーピングの一種」といった意見があったのを覚えています。さらにロンドンパラリンピックにおいて、2位になった義足選手が優勝した義足選手に対して「あの義足は性能が良すぎる」とコメントし物議をかもしました。しかし今回の競技会において、義足や車椅子などの歩行（疾走）補助具があっても、様々な工夫、協力、努力によって「陸上競技を楽しんでいる」ことは健常選手と変わらないと感じました。

理学療法士となり経験した切断患者さんは数少ないですが、今後切断患者さんを担当する機会に、今回の選手権で出会った選手の会話や意見、義肢装具士さんの義足へのこだわりを生かしていけるのではないかと思います。

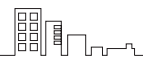
最後になりましたが、競技会において説明してくださった駒場先生、競技会中に気軽に交流してくださった「ヘルスエンジェルズ (<http://www.healthangels.jp/index.html>)」のスタッフ、選手のみなさま、本当にありがとうございました。



参考文献

駒場佳世子：義足装着者の陸上競技における理学療法の関わり．PTジャーナル44：861-865，2010

駒場佳世子，臼井二美男：切断者のスポーツ参加と理学療法-陸上競技の支援．PTジャーナル46：614-616，2012



思いをつなげたい

～小田原ツデーマーチのメディカルサポートに携わって～

小林病院 渡部 淳子

平成24年11月17日、18日と開催された小田原ツデーマーチに「県西地区リハビリテーション連絡協議会」と県士会の「スポーツ支援・健康増進部」がメディカルサポートとして参加しました。今回で2回目となったメディカルサポートですが、初回よりもサポーターの人数が増員しサポート体制が充実しました。サポート内容は障害予防を目的に、スタート地点での血圧測定、中継地点でのストレッチ、テーピングを実施しました。また、第一回目の時から「障害者の方に多く参加してもらえるように、障害者のサポート体制を整備しよう」という会の思いが今回実現し、障害者のウォーキングのサポートも実施されました。対応内容は以下に示します。

スタッフ人数及び参加状況

	平成23年度	平成24年度
スタッフ総数	16名	33名
血圧測定	243名	162名
ストレッチ	31名	84名
テーピング	11名	31名
ウォーキングサポート	0名	2名



私自身は、2日目のストレッチの担当でした。10代～80代の方まで幅広い年齢層の方、初心者の方から上級者の方、様々な方のサポートをさせて頂き、理学療法士のスキルを磨く上でも大変貴重な経験となりました。

また、今回から実現したウォーキングサポートでは、利用された50代の片麻痺の方から「来年も参加したい!」といった感想を聞くことができました。今回の利用者は2名と少数であり、今後の課題も残っていますが、「障害者の社会参加促進」を支援する立場として今後もこのような取り組みを積極的に行っていくことが重要だと思います。

昨今、理学療法士が「いかに社会に貢献して職域と価値を高めていくか」ということが問われている中、この会が地域のために新しいことにチャレンジしていく様子を傍で見て学ばさせて頂き、また私自身もそこに参加することができ多くの刺激を受けました。一緒に参加されたサポーターの方も一般の方の健康増進や障害者のスポーツ参加などへの関心が高く、私もその情熱に触発され、このような公益事業の取り組みへの関心が深まりました。障害者の方の笑顔をもっともっと増やしたい!そんな思いを抱えている方は、ぜひ今年、サポーターとしてお力とお知恵を貸していただければと思います。

最後に、今回、サポートに携わることができたことで、理学療法士としての可能性や地域との繋がりを考えるいい機会を頂きました。このような機会を与えてくださった関係者の方々には紙面をお借りし深くお礼申し上げます。



※この写真は被写体本人の了解を得て撮影及び掲載しています

活動報告

平成24年度研修会&交流会を終えて

会員ライフサポート部 川崎市立多摩病院 西山昌秀

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第38報

平成24年10月28日に開催しました当部主催の研修会および交流会について報告します。今回も例年に引き続き、お子様連れでも参加可能な託児室を併設した研修会を企画し開催しました。研修会では「今さら聞けないシリーズ3（脳画像の見方2）」というテーマで（株）Awesomelife代表の田中一秀先生に講演して頂きました。今回の内容は、脳の構造と画像の見方でした。研修会後は交流会として、「職場でのお困りごと」をテーマに8名のグループになって意見交換を行いました。参加者は49名でした。新人さんが多く（21名43%）、また、病院勤務の人が大半でしたが、全体をみると幅広い年齢層で、様々な意見がでました。

●研修・交流会後のアンケートより

研修会に関しては、田中一秀先生の分かりやすい講義に対して来年も引き続き「今さら聞けないシリーズ」を継続して欲しいとの声が多く聞かれました。

交流会に関しては、今回は特に新人さんならではの悩みが多く聞かれ、卒後教育の重要性を改めて感じさせられました。具体的な悩みについて一部抜粋して紹介します。

交流会での意見交換より

●全体共通意見

早く帰れない、残業代が出ない
相談相手がいない、休みが少ない

●新人さん

聞きたいときに聞ける人がいない
何から勉強して良いかわからない

●ベテランさん

経験があっても全ての理学療法の内容を知っているわけではない

●女性PT

結婚・妊娠した時に今の職場で働いていけるか不安、セクハラがある

●ママ、パパ

子供がいても職場の配慮がない、子供が理由で急な休みを取ることがあり気兼ねする
勉強ができない

●休職中の場合

ブランクがあり復職できるか不安
子供がいて復職が難しい



託児室に関しては、託児室を利用した全員の9名が参加しやすく、安心して研修会に参加できたと回答しています。託児室でお預かりしたお子様は0歳児から5歳児の13名で、とてもにぎやかでした。

他の研修会でも託児所を併設して欲しいとの要望や、今後も当部の研修会で託児所を継続して欲しいという意見も頂いております。会員ライフサポート部では、今後も小さな子供を抱える会員に託児室の併設など参加しやすい研修会を企画し、その数も増やしていきたいと考えています。子供がいても仕事して、勉強できるのが当たり前という環境に少しでも近づいていきたいですね。





子供を連れ夫婦で研修会&交流会に参加して

野末整形外科歯科内科リハビリテーション室 菅田伊左夫

10月28日に行われた『今さら聞けないシリーズ』に参加させて頂きました。子供を託児所に預けることが出来たので、とても安心して夫婦揃って受講することができました。私は妻と子供2人と4人家族です。そのため勉強会や研修会に参加する場合は、どちらかが家で子供の面倒を見るか、私の実家の祖父母に子供を預けるかしか方法がないので、勉強会に行くのがとても大変でした。そのため、県士会の新人教育プログラムをなかなか終了する事ができませんでした。そのような中、子供を預けられる研修会ということで参加させて頂きました。

研修会当日は下の子が体調不良のため祖父母にみてもらう事になったので、3人で会場へ向かいました。託児所は研修会場とは別の部屋だったため、私は泣いて戻ってくるのではないかと少し心配していたのですが、何も無く研修は終了し交流会にも参加して他の職場の状況や悩

み事などを話し合う事ができました。子供を迎えに行ってみると、楽しく遊んでいたようで嬉しそうに出てきました。スタッフの方々も非常に親切で、とても安心しました。本当にありがとうございました



●●●会員ライフサポート部部員募集●●●

一緒に活動して下さる方大募集。年数回、神奈川県理学療法士会事務所で集まって活動しています。また、会議には参加できないけれど、ご意見、ご要望がある、メールを通して活動に参加したいという方（メールサポートメンバー）も随時募集しています。

連絡先：lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（会員ライフサポート部 寺尾）



月	日	内容	場所
12月	4日(火)	会務決済	事務所
		第49回学会準備委員会	事務所
	9日(日)	第49回学会準備委員会協会学術担当者合同会議	田町カンファレンスセンター
	13日(木)	会務処理決済	事務所
	15日(土)	第9回理事会	事務所
	17日(月)	「仕事と介護の両立推進」出前講座	横浜
	26日(水)	国民の医療を守る総決起集会	県総合医療会館
2013年 1月	27日(木)	会務処理 県立保健福祉大学10周年記念事業	事務所 県立大学
	7日(月)	会務処理	事務所
	8日(火)	第5回常任理事会	事務所
	10日(木)	「快適な住まいの手引き」編集打ち合わせ	波止場会館
	11日(金)	神奈川県リハビリテーション協議会	県総合医療会館
	15日(火)	第9回理事会	事務所
	16日(水)	第49回学会準備委員会	事務所
	17日(木)	県保険医協会賀詞交換会	横浜
	21日(月)	県公衆衛生協会賀詞交換会	横浜
	22日(火)	県医療専門職連合会理事会	横浜
	29日(火)	会務処理	事務所

新人教育プログラム



平成25年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定

講座名	履修ポイント基準 ※1 (新テーマ)	必須選択		修了要件 (単位数) ※5	研修会名	開催日	会場
		必須	選択				
必須初期研修 ※2	A-1 理学療法と倫理	1		1	第1回 新人教育 プログラム 研修会	6月23日 (日)	横須賀市 文化会館 大ホール
	A-2 協会組織と生涯学習システム	1		1			
	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1		1			
	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1		1			
	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)	1		1			
理学療法の 基礎 ※3	B-1 一次救命処置と基本処置		1	3	第2回 新人教育 プログラム 研修会	9月8日 (日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
	B-2 クリニカルリーズニング		1				
	B-3 統計方法論 ※4		1				
	B-4 症例報告・発表の仕方 ※4		1				
理学療法の 専門性 ※3	D-1 社会の中の理学療法		1	2	第3回 新人教育 プログラム 研修会	12月1日 (日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域		1				
	D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT 含む)		1				
理学療法における 人材の育成 ※3	E-2 コーチングとティーチング(コミュニケーションスキル含む)		1	1			
	E-3 国際社会と理学療法		1				
	E-1 臨床実習指導方法論		1				
理学療法の 臨床 ※3	C-1 神経系疾患の理学療法		1	2	PT協会主催理学療法士講習会(基本編)への参加、各都道府県士会主催の研修会・講習会への参加、学会における新人教育プログラムなど ※7		
	C-2 運動器疾患の理学療法		1				
	C-3 内部障害の理学療法		1				
	C-4 高齢者の理学療法		1				
	C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)		1				
	C-6 症例発表		3				
	C-7 士会活動・社会貢献		1	各都道府県理学療法士会が認定した活動に参加			
計				15 ※6			

- ※1：履修ポイント基準とは、新人教育プログラムにおけるテーマ項目名です。協会ホームページ内のセミナー・講習情報覧画面 (<https://www.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>) の詳細情報でご確認ください。
- ※2：「必須初期研修」(A-1～5)：必修5単位として対象者は必ず受講する必要があります。
- ※3：選択10単位は、「理学療法の基礎」(B-1～4)：選択3単位、「理学療法の臨床」(C-1～7)：選択4単位、「理学療法の専門性」(D-1～3)：選択2単位、「理学療法における人材の育成」(E-1～3)：選択1単位となります。
- ※4：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除(平成24年度入会者より該当)。申請の必要はありません。協会ホームページ内「マイページ」にてご確認ください。
- ※5：重複した履修ポイント基準(テーマ)を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。
- ※6：新人教育プログラムの修了要件は、15単位の履修になります。
- ※7：「理学療法の臨床」(C-1～7)は、別途講習会での履修となります。
- ※8：県士会ホームページ、ニュース等でご確認ください。
- ※9：県士会ホームページ内「生涯学習システム」申請・認定要件に従って申請してください。





第49回日本理学療法学会大会だより (No.2)

学会大会副大会長 秋田 裕 (神奈川県理学療法士会会長)

この4月1日でのカウントダウンは“424日”。いよいよ学会開催日まで1年3か月となりました。準備の進捗状況などは、会員の皆様方にこの士会ニュースやウェブサイトなどを通じてお伝えしていきますので、ぜひぜひご確認くださいませように。

さて、これまでも神奈川県では全国レベルの大きな学会・研修会が開催されてきました。1979年(昭和54年)に開催された第14回日本理学療法士学会、1986年(昭和61年)には第21回日本理学療法士協会全国研修会、1993年(平成5年)の第28回日本理学療法士学会、そして1999年(平成11年)には第13回世界理学療法連盟(WCPT)学会。このほかにも3回の関東甲信越理学療法士学会を開催しています。

中でも第14回学会は、本会として初めて担当した全国規模の事業でした。士会設立から10年、会員数は149名。当時、本会2代目の会長を務めておられた谷島朝生氏(現名誉会員・相談役)が学会長となり、JR桜木町駅からほど近い紅葉坂を上ったところにある、県立音楽堂と県立青少年センターを会場として開催された学会です。

この学会の学会誌(臨床理学療法第6巻第1号)の巻頭に谷島学会長が一文を寄せられています。学会開催の準備の中で2つの意味を見出すことができた、と述べられています。

「開催する側にとって、学会とはどんな意味を持つのだろうか」と考え続けているときに、学会の狙いの一つが「地域社会の理解を得ること」であり、「地域に根ざしたPT」を目標に活動してきた10年の課題が、「学会という手間も金もかかる事業の進行の過程で、極めて自然に成しとげられていくことがわかるのです。更に(中略)スタッフが仕事をするなかで、会員相互の理解と信頼が加速され、学会という標的を目指して協調の輪が広がって行くのです。勤務場所の異なるPTの横のつながりはなかなか難しく、通常の士会活動では1/4くらいの参加が精いっぱい状況です。学会が終わったとき、100人以上の会員が直接的役割を担っていました。過去10年でできなかったことが、一見、手に余るような学会を引き受けたことによりスムーズにでき上がっていきました。」

当時の学会の規模とは比較にならないくらい巨大な規模の学会となった今回の学会においても、なお、意義深いことであろうかと改めて思う次第です。会員数も3,600人を超え、会員ひとり一人の顔もわからない本会の現状の中で、この学会の準備を進める中で谷島先生の抱えていらした課題をいま一度、我がことに置き換えて400日余りの日々を歩んでいこうと思っています。会員諸氏のご理解とご協力をお願いする次第です。



●県士会主催

研修会・講習会



介護保険関連理学療法士実務者研修会－高齢者のシーティング・ポジショニング編－

内 容：社会的なニーズのもと介護保険関連に従事している理学療法士が年々増えてきております。老健、特養、有料老人ホーム等の入所施設やデイケア、デイサービス等の通所施設に従事されている方、または今後その予定がある方々を対象とした研修会となります。今回は『高齢者のシーティング・ポジショニング』をテーマとして、実技講習形式の研修会を企画しました。日ごろから車いすやベッド上でのポジショニングをする機会は多いと思いますが、理学療法士として運動力学的視点に立って、科学的な根拠をもってポジショニングができるように一緒に勉強していきましょう。

日 時：平成 25 年 3 月 31 日 (日)
10:00～16:00 (受付開始 9:30～)

会 場：介護老人保健施設アゼリア
住 所：神奈川県海老名市河原口 1357-1

講 師：小泉 千秋氏 (七沢リハビリテーション病院 脳血管センター 理学療法士)
森田 智之氏 (神奈川リハビリテーション病院 理学療法士) 他

参 加 費：無料 (必ず上履きを持参して下さい)

形 式：講義・実技 (評価・実践)

申込方法：神奈川県理学療法士会ホームページより Web 申込

申込受付期間：平成25年2月25日 (月) 12:00～3月23日 (土) 17:00

定 員：50 名

そ の 他：※定員に達し次第申し込み受付終了とさせていただきます。
※応募者多数により選考が必要となった場合には介護保険関連の施設・事業所に従事している方を優先させていただきます。

お問合せ先：介護老人保健施設さつきの里あつぎ
リハビリテーション科 前田 玲
TEL046-227-1188 (代)

●他団体

研修会・講習会



入谷式足底板～基礎編～

日 時：平成 25 年 5 月 5 日 10:00～16:00
会 場：多摩永山情報教育センター 東京都多摩市
京王線永山駅または小田急永山駅 (徒歩 5 分)

内 容：日本が世界に誇る理学療法士、入谷誠先生初の単独書籍『入谷式足底板～基礎編～』が出版されました。この出版にちなんで、この書籍の内容を入谷先生自身にお話頂くセミナーを開催致します。世界最高峰の治療技術を有する臨床家の話を直に傾聴し、そして、その内容の書籍を学ぶことは分野や手技を問わず必ず役に立つと思います。参加費も安価ですのでは非奮ってご参加ください。「あなたは、読んでから参加するか!参加してから読むか!」

参 加 費：3,000 円 (ただし、テキストとなる書籍『入谷式足底板～基礎編～』をご持参頂くか、もしくは当日購入 (消費税をお引きした価格) して頂くことが条件となっております。)

お申込先：「運動と医学の出版社」ホームページの下記 URL からお申込みをお願いします。
<http://motion-medical.co.jp/?mode=cate&cbid=673992&csid=0>

お問合せ：info@motion-medical.co.jp

公開 URL：http://www.youtube.com/watch?v=fULv2wsmn64∓feature=channel_video_title

平成 25 年度 神奈川リハビリテーション病院「臨床研修」の募集のご案内

内 容：当院では理学療法士を対象とする「Ⅰ：卒後臨床研修」、「Ⅱ：専門臨床研修」の臨床研修を計画しておりますので、ご案内させていただきます。

Ⅰ：卒後臨床研修

目 的：当院の特徴である整形外科疾患・脊髄損傷・外傷性脳損傷等の評価と治療を通して、基礎的な理学療法技術の習得を目指す。

対 象：臨床経験 4 年未満の県内理学療法士

研修内容：治療研修・基礎的な理学療法技術研修 (講義と実技)・症例検討

期 日：平成 25 年 7 月 29 日～8 月 2 日 (月～金曜日、1 週間)

費 用：20,000 円

募集人数：6 名

講 師：当院理学療法士 他

Ⅱ：専門臨床研修

目 的：疾患別理学療法技術 (①脊髄損傷②変形性股関節症③外傷性脳損傷) の研修と交流

対 象：臨床経験 4 年以上の理学療法士

研修内容：治療研修・専門的な理学療法技術研修 (講義と実技)・症例検討

期 日：平成 25 年 8 月 5 日～8 月 16 日 (月～金曜日、2 週間)

費 用：40,000 円

募集人数：4 名

講 師：当院理学療法士 他

募集要項は当院ホームページにて掲載されます。詳細につきましては下記まで e-mail にてお問い合わせください。

締め切り：ⅠとⅡともに平成 25 年 6 月 30 日

問い合わせ先：神奈川リハビリテーション病院 理学療法科 鳥山貴大

E-mail：kanapt@kanagawa-rehab.or.jp

ホームページ：<http://www.kanariha-hp.kanagawa-rehab.or.jp/>

主 催：神奈川リハビリテーション病院

後 援：神奈川県理学療法士会

通所リハビリテーション入門～東京会場～

日 時：平成 25 年 3 月 20 日（水祝） 10：00～16：00
 会 場：中小企業振興公社 秋葉原庁舎 第 1 会議室
 内 容：●通所リハビリテーションの基本を理解する（制度的背景を知る）
 ●事業所および利用者の実態、その運営のポイント
 ●モデル的運営施設の取り組み、サービス内容のポイントを理解する
 ●これからの通所リハビリテーションを理解する
 短時間型通所リハを含めて、今後想定される通所リハ

の展望を理解する
 参 加 費：12,000 円※会場にてお支払い下さい。
 ※講習会 1 週間前よりキャンセル料が発生致します。
 講 師：岡野 英樹 先生
 （医療法人真正会霞ヶ関南病院 霞ヶ関中央クリニック コミュニティケア部 副部長・理学療法士）
 詳細・お申込先：www.gene-llc.jp
 合同会社 gene TEL052-911-2800

コアマッスの再考と臨床への応用～東京会場～

日 時：平成 25 年 3 月 20 日（水祝） 10：00～16：00
 会 場：日本印刷会館 2 階 201-203 会議室
 内 容：今回は、ヨガ・ピラティスの体験を元に、医療的にコアを解釈し、定義付けを行うと同時に、実践を通して体感した知識とする方法でお伝えします。
 「コア＝体幹」ではなく、「身体の芯としてのコア」の進化の過程等、広い視点で意味付けを行っていきます。幅広い視点から、人間になぜコアが必要なのか、なぜダンスなどの身体表現の世界でコアが重要視されたの

かを解釈し、コアを再考していきます。
 起こった結果から見ていく、人間の捉え方から人間の本質、特長から人間本来の能力という視点を提案します。
 参 加 費：12,000 円※会場にてお支払い下さい。
 ※講習会 1 週間前よりキャンセル料が発生致します。
 講 師：中村 尚人 先生（株式会社 P3 代表取締役・理学療法士）
 詳細・お申込先：www.gene-llc.jp
 合同会社 gene TEL052-911-2800

脳画像のリハビリテーションへの活用 - 中枢神経疾患による障害を理解するための脳解剖学知識の整理 - ～東京会場～

日 時：平成 25 年 3 月 24 日（日） 10：00～16：00
 会 場：損保会館 大会議室
 内 容：中枢神経疾患において、脳画像を評価に取り入れ臨床に活かす過程を取り入れる事は、評価結果の解釈における精度を高め、これまでのアプローチをより適切なものにするはずである。
 本セミナーは脳解剖学的基础知識ならびに脳画像の基礎知識を整理し、自験例を提示して、臨床で脳画像を活

用するための礎を構築する事を目標とするものである。
 講 師：阿部 浩明 先生
 （財団法人広南会 広南病院 リハビリテーション科 総括主任・理学療法士）
 参 加 費：12,000 円※会場にてお支払い下さい。
 ※講習会 1 週間前よりキャンセル料が発生致します。
 詳細・お申込先：www.gene-llc.jp
 合同会社 gene TEL052-911-2800

老人保健施設におけるリハビリテーション ～在宅強化型施設に向けて～東京会場～

日 時：平成 25 年 4 月 21 日（日） 10：00～16：00
 会 場：日本印刷会館 2 階 201-203 会議室
 内 容：1. 制度改定から読み解く今後の老人保健施設の動向
 2. 在宅強化型施設になるための具体的方法
 3. 多職種連携を機能させる
 4. 通所リハビリテーションの効率的運用
 5. 老健からの訪問リハビリテーション
 6. 老健施設でできる地域生活支援

講 師：土井 勝幸 先生
 （医療法人社団 東北福祉会 介護老人保健施設 せんだんの丘 施設長・作業療法士）
 参 加 費：12,000 円※会場にてお支払い下さい。
 ※講習会 1 週間前よりキャンセル料が発生致します。
 詳細・お申込先：www.gene-llc.jp
 お問合先：合同会社 gene
 TEL:052-911-2800（担当：安藤）

CSPT2013 クリニカルスポーツ理学療法セミナー

テーマ・日程：
 足部・足関節：評価 5 月 18 日（土）／治療 5 月 19 日
 膝関節：評価 6 月 15 日（土）／治療 6 月 16 日
 腰痛・骨盤痛：評価 7 月 20 日（土）／治療 7 月 21 日
 肩・肘関節：評価 8 月 3 日（土）／治療 8 月 4 日
 講習時間：土曜日 講習 14：00～20：30
 日曜日 講習 9：30～16：30
 会 場：横浜市スポーツ医科学センター
 〒222-0036 横浜市港北区小机町 3302-5
 概 要：リアライン・コンセプトという基本的な治療の設計図を学べます。評価とリハビリテーションについては、関節疾患

特有の関節のマルアライメント、キネマティクス異常を正確に判断し、それに対する的確に矯正する治療法をご紹介します。
 参 加 費：1 日：12,600 円 2 回セット：21,000 円
 ※ 8 回早期申込割引を実施中。HP をご覧ください。
 定 員：100 名（先着順）
 講 師：蒲田和芳（広島国際大学）ほか
 お申込先：www.glabshop.com より該当セミナーを選び決済へとお進みください。
 お問合せ：株式会社 GLAB seminar@g-lab.biz

●他団体

研修会・講習会



Basic コース (計 2 日間)

日時/会場/定員:

名古屋会場/4月13日(土)10:00~19:00、14日(日)9:00~18:00/名古屋徳洲会総合病院/14名限定
 千葉会場/4月28日(日)10:00~19:00、29日(月・祝)9:00~18:00/我孫子東邦病院/14名限定
 神奈川会場/5月12日(日)10:00~19:00、19日(日)10:00~19:00/寒川病院/14名限定 *日程注意
 静岡会場/6月1日(土)9:00~18:00、2日(日)9:00~18:00/富士リハビリテーション専門学校/30名限定 *時間注意

内容: DGMSM セミナーシステムに準じて、ドイツ徒手医学を学習、体得して頂くセミナーの新規募集を行います。

参加費: 25,000円(2日間)

お申込みには準会員登録(セミナー受講生)が必要です。当法人 HP お申込みフォームよりお願い致します。

主催団体名: 一般社団法人ドイツ筋骨格医学会日本アカデミー

主催団体の URL または概要:

当法人は、ドイツ筋骨格医学会(DGMSM)とライセンス契約を締結した学術団体で、DGMSM 本部(ドイツ・ポツパルト)での研修を修了、認定試験に合格したインストラクターによって設立され、「ドイツ徒手医学を通して日本の医療・保健・福祉に貢献する」ことを目的としております。詳しくは当法人 HP <http://www.dgmsm-japan.or.jp/> をご覧ください。

療法士.com

概要: 若い療法士のために、活躍している有名な先生からリハビリの知識と技術を学び、臨床現場で活躍できるような療法士になって、貢献できるセラピストを増やして、理学療法をもっと認知してもらうために、セミナーを開催しています。

詳細・お申込: 療法士.com の HP にて受付
<http://ryouhouji.com/modules/column/ryouhouji.com-planning/seminar-2st.html>

問い合わせ: info@ryouhouji.com

●「楽になる楽しい呼吸リハビリテーション入門」

日時: 2013年4月7日(日) LMJ 東京研修センター 2F 特大会議室

講師: 佐野 裕子 先生

参加費: 2013年3月7日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「若手療法士のための動作分析と臨床推論」- 膝関節編 -

日時: 2013年4月7日(日) 日本青年館ホテル 国際ホール

講師: 石井 慎一郎 先生

参加費: 2013年3月7日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「中枢神経疾患のリハビリテーションと脳機能解剖学」

日時: 2013年4月20日(土) 全林野会館 大ホール

講師: 吉尾 雅春 先生

参加費: 2013年3月20日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「慢性疼痛治療の最前線」

～疼痛・拘縮・変形は生体順応反応である～

日時: 2013年4月21日(日) かながわ労働プラザ ホール B

講師: 脇元 幸一 先生

参加費: 2013年3月21日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「リハビリテーションに必要な高次脳機能の基礎知識」

日時: 2013年4月27日(土) LMJ 東京研修センター 2F 特大会議室

講師: 高倉 保幸 先生

参加費: 2013年3月27日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「転倒予防に対するリハビリテーション」

日時: 2013年4月28日(日) LMJ 東京研修センター 2F 特大会議室

講師: 山田 実 先生

参加費: 2013年3月28日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「腰痛患者に対するコアセラピー - 骨盤と胸郭に注目したアプローチ -」

～特に行動・心理症状へのアプローチを中心に～

日時: 2013年4月28日(日) 東京セミナー学院

講師: 蒲田 和芳 先生

参加費: 2013年3月28日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「運動連鎖からみた動作分析 PART2」

～動作の意味がわかる! 上肢肩甲帯の運動連鎖～

日時: 2013年4月29日(月・祝) 町田市文化交流センター けやき 5F

講師: 山本 尚司 先生

参加費: 2013年3月29日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「神経科学から考える運動学習」

日時: 2013年5月12日(日) 町田市文化交流センター ホール

講師: 森岡 周 先生

参加費: 2013年4月12日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「若手療法士のための動作分析と臨床推論」- 歩行編 -

日時: 2013年5月18日(土) 日本青年館ホテル 中ホール

講師: 石井 慎一郎 先生

参加費: 2013年4月18日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

●「中枢神経疾患リハビリテーションにおける臨床的な評価方法」

～動作分析から考える筋緊張異常とその評価～

日時: 2013年5月19日(日) LMJ 東京研修センター 5F 特大会議室

講師: 鈴木俊明 先生

参加費: 2013年4月19日までの申込みは 10,000円(以降は 12,000円)

information



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料 (500円)** となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定年会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

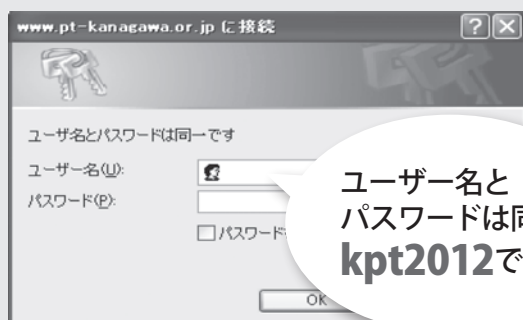
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部



「公益社団法人神奈川県理学療法会」ロゴマークの募集

本会は、来たる平成25年4月1日に公益社団法人へ移行します。つきましては、移行に伴いロゴマークを作成することになりました。下記のようにマークを募集しますので、是非とも多くの方に応募していただけるようお願いいたします。

ロゴマークの意匠

イメージ：神奈川県に関連したもの

キーワード：「理学療法」「リハビリテーション」「笑顔」などを想起

色 彩：カラーとするが、モノクロでも認識できるコントラスト

用 途：本会ホームページ、本会発行物への挿入、事務封筒、本会広報グッズ（Tシャツ・看板など）、その他

募集要項

締め切り：平成25年5月10日（金）必着

応募資格：特に定めない

懸 賞：採用デザインに図書券2万円

発 表：平成25年6月の公益法人移行記念式にて公表（予定）し、懸賞を贈呈します。

応募方法：

- ・手書きまたはPCにてA4用紙に作成してください。
- ・作品と別に、デザインの趣旨、氏名、連絡先住所、メールアドレス、電話番号、所属（本会の会員であれば）を添付（書式は特に定めません）してください。
- ・応募は郵送あるいはメール（ファイル添付）をお願いします。メールのファイル形式はJPEGをお願いします。
- ・郵送は表に「ロゴマーク応募」の記載を、Eメールの場合は件名に「ロゴマーク応募」と記載してください。なお、応募作品は、原則として返却は致しません。
- ・採用作品に関する一切の権利は本会に委譲して頂きます。
- ・採用作品の使用にあたっては、デザイン専門家のアドバイスにより若干の変更を加える場合、またモノクロで使用する場合がありますので、ご了承ください。
- ・作成にあたり、他のデザインの著作権に注意をお願いいたします。

審 査：応募作品は、本会理事会にて審査します。不採用の際にはご連絡はしませんのでご了承をお願いいたします。なお、当選者には公表前にお知らせ致します。

送付先：

- ・郵送：神奈川県理学療法士会 事務局
〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12
アーリア20 101号
- ・メール：office@pt-kanagawa.or.jp
- ・Tel：045(326)3225 Fax：045(326)3226

Wheelchair for Seating



GYRO

日本ウイール・チェアー株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730
〇九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854
〇関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927
〇千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935
〇福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



車いすなんでも相談



理事会報告



社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第7回理事会議事録

I. 日 時：2012年10月16日（火） 19：00～21：00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、山口
泰成、大槻かおる、佐藤史子、福島 努、惣田 洋、
相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、小生理恵子

欠席理事：坪内敬典、内田賢一

出席監事：井上 保、安藤徳彦

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会長 今吉 晃
（公社）日本理学療法士協会理事 山本尚司

出席事務局員：石川久子

IV. 議長団選任

議長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて以下のように選
出された。

副議長：隆島研吾

議事録署名人：炭 孝昭、林 克郎

V. 配布資料

- ・第7回理事会議事案
- ・2012年度第5回理事会議事録
- ・2012年度第6回理事会議事録
- ・社団法人神奈川県理学療法士会会員の推薦に関する規定(案)
- ・平成24年度都道府県理学療法士会全国会長会議資料
- ・第76回関東甲信越ブロック士会長会議議事録
- ・事務局：理事会資料
- ・学術局：学術局理事会資料、学術講習部事業報告、講習会掲載依頼用紙の提出期限について（お願い）、WEB掲載までのフローチャート、学術大会部事業報告、第30回神奈川県理学療法士会準備委員会事業報告
- ・社会局：第7回理事会事業報告書、神奈川県医療専門職連合会公開セミナーチラシ、会員ライフサポート部事業報告、復職支援実務研修概要、スポーツ支援・健康増進部事業報告、介護保険部事業報告、第3回訪問リハ地域リーダー会議報告書

VI. 議事内容

- (1) 会長挨拶・会長行動報告
- (2) 2012年度第5回、第6回理事会議事録承認（承認）
 - ・2012年度第5回理事会議事録が、一部修正の上、承認された。
 - ・2012年度第6回理事会議事録が、一部修正の上、承認された。
- (3) 全国都道府県理学療法士会会長会議の件（報告）
 - ・秋田会長より10月8日に開催された「全国都道府県士会会長会議」についての報告があり、主な内容は各都道府県士会の現状報告、日本理学療法士協会次年度重点事業等についての説明があったとの話があった。
 - ・日本理学療法士協会が「理学療法士ガイド」が作成さ

れたとの報告があった。

- (4) 中間監査準備（報告）
 - ・山口事務局長より、10月21日（日）10：00から本会事務所に中間監査が開催されるとの報告があった。
- (5) 会員推薦依頼に関する規定（案）（承認）
 - ・林副会長より会員推薦依頼規定について、運用方法等の補足説明があり承認された。
 - ・この規程は平成24年10月16日より施行することとなった。
- (6) 各局・部・委員会報告（承認）

1.事務局

①会員異動報告、入会者の承認

- ・前回理事会より入会3名が承認され、転入6名、転出5名、休会1名（新規）、復会2名、退会0名、県内異動20名があり、10月16日現在の会員数が3,744名であることが報告された。
- ・賛助会員は現在11社であることが報告された。

②各種団体よりの依頼事項の件

- ・第2回横浜市・南関東在宅医療推進フォーラム運営委員会より「第2回横浜市・南関東在宅医療推進フォーラム」の後援依頼があり承認された。
- ・川崎市より「川崎市介護認定審査会委員」欠員の推薦依頼があり、吉澤隆治氏（川崎臨港総合病院）を推薦する事が承認された。
- ・厚木市より「平成25年度厚木市経過健診」事業への会員推薦依頼があり、社会局が調整することとなった。
- ・平成24年神奈川県公衆衛生協会会長表彰において磯部貴光氏（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）の受賞決定通知書が届いたと報告された。
- ・平成24年度藤沢市保健所長表彰において斎藤幸広氏（藤沢市民病院）の受賞決定通知書が届いたと報告された。

③各部事業報告

- a) 総務部
 - ・来年度新人オリエンテーションについて、ゴールデンウィーク前後の日程で今年度より広い会場を誘致しているとの話があり、内容についても検討中であるとの報告があった。
- b) ウェブサイト管理部
 - ・ホームページリニューアル作業について進捗状況の報告があり、来年1月末にはリニューアルしたホームページの原型が出来るように進めているとの話があった。
- c) 広報部
 - ・広報活動を委託している業者に関して、管轄税務署から本会宛に債権を差押えたとの通達が届いたことから委託業者の見直しが必要なのではとの意見があり、現在契約している業者より最近の収支決算書等の資料を提出してもらい、その資料を基に委託業者

理事会報告

の見直しをすることとなった。

④その他

- ・事務所の電話回線が増え、運用方法について検討中であるとの報告があった。
- ・諸規定の見直し案が徐々に進行しているので、今後理事会等で最終検討をしていきたいとの話があった。

2.学術局

①各部事業報告

- a) 学術講習部
 - ・9月30日（日）に昭和大学藤が丘病院講堂にて第1回講習会が開催され、受講者が50名であったことが報告された。
 - ・研修会受付で日本理学療法士協会新システムを導入し、概ね成功したことが報告された。
 - ・システム導入に辺り、受付方法等について検討する必要があるとの話があった。
- b) 生涯学習部
 - ・新人教育プログラム修了申請について、本会で救済処置として行っていた郵送形式の申請を12月末で終了することが報告され、会員へは11月号ニュースで周知されるとのことであった。
 - ・研修会・講習会のweb掲載依頼および講習会ID取得申請の提出期限について変更したいとの申し出があり、WEB掲載の1ヶ月前までに提出して欲しい旨が依頼された。
- c) 学術大会部
 - ・神奈川県理学療法士学会（以下、県学会）会期内における「理学療法相談会」の相談窓口対応を部長および理事で対応したいとの話があり、後日公募するとの報告があった。
 - ・第30回記念学会にあたり、学会抄録集に学会変遷史や秋田会長や数名の理事の寄稿を掲載したいとの話があった。
 - ・第31回神奈川県理学療法士学会を東北地区担当で検討しているとの話があった。
 - ・第30回県学会の登録演題の応募が102演題あったとの報告があった。
 - ・第30回県学会会期内に設置される託児所について、1月号ニュースおよびホームページで募集案内を広報することが報告された。
 - ・第30回県学会会場内で会議等開催予定の場合は早めに学会準備委員会へ連絡して欲しいとの話があった。
 - ・第30回県学会特別企画について、進捗状況の報告があった。

②その他

- ・関東甲信越ブロック協議会より「第2回学会運営検討委員会」への出席依頼が届き、佐藤学術局長が出席する

ことが報告された。

3.社会局

①療専門職連合会からの報告

- ・神奈川県医療専門職連合会公開セミナーが10月19日（金）に開催されるとの報告があった。

②各部事業報告

- a) 会員ライフサポート部
 - ・10月5日に部会議が開催されたとの報告があった。
 - ・復職支援事業について、実施施設を7施設に拡大したとの話があった。
 - ・復職支援研修生募集の広報手段として郵送する会長名の文書案が提案され、一部修正の上承認された。
 - ・募集広報発送先については再度検討し理事会にて報告することとなった。
 - ・10月28日（日）に「会員ライフサポート部主催研修会&交流会」が開催予定であるとの報告があった。
 - ・7月に実施した休会会員向けアンケートについて、現在集計中であることが報告された。
- b) スポーツ支援・健康増進部
 - ・「城下町おだわらツデーマーチ」メディカルサポートについての進捗状況の報告があり、現在ホームページにてサポートボランティアメンバーを募集中で、11月2日にボランティアメンバー対象の勉強会が開催されるとの報告があった。
 - ・スポーツ傷害セミナー開催における事業報告書に誤りがあり、再提出された事業報告書について補足説明があった。
- c) 介護保険部
 - ・一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会との共催事業「訪問リハビリテーション地域研修会in神奈川」について進捗状況の報告があった。
 - ・9月6日（木）～7日（金）に開催された「第3回訪問リハ地域リーダー会議」の事業報告書が提出され、補足説明があった。
- d) 公益事業推進部
 - ・秋のセミナーについて、集客者確保に向けてのチラシを平塚市近隣会員所属施設に発送したとの報告があった。

③その他

- ・横浜市立仲尾台中学校より「職業講話」事業に対する会員推薦依頼があり、議事（5）にて承認された「会員推薦依頼規程」に準じて、社会局で対応することとなった。

4.その他の委員会

①その他

- ・秋田会長より9月15日（土）に開催された「第76回関東甲信越ブロック士会長会議」についての報告があった。

以上



社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第8回理事会議事録

I. 日 時：2012年11月20日（火）19：00～22：00

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、大槻かおる、福島 努、坪内敬典、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、内田賢一、小山理恵子

欠席理事：山口泰成、佐藤史子

出席監事：井上 保、君嶋武司

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会会長 今吉 晃
（公社）日本理学療法士協会理事 山本尚司

出席事務局員：石川久子

IV. 議長団選任

議 長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事の互選にて以下のように選出された。

副 議 長：炭 孝昭

議事録署名人：隆島研吾、林 克郎

V. 配布資料

- ・第8回理事会議事案
- ・2012年度第7回理事会議事録
- ・2012（平成24）年度中間監査報告
- ・2012年度中間監査口頭指摘事項 - 改善状況管理表
- ・公印管理規程
- ・個人情報保護規定
- ・旅費規程
- ・就業規則
- ・賃金規程
- ・2013（平成25）年度会議等日程（案）
- ・高次脳機能障害者普及事業「専門的リハビリテーションの充実 講習会の開催」について
- ・事務局：理事会資料
- ・学術局：学術局理事会資料、平成24年度日本理学療法士協会研修部関東甲信越ブロック協力スタッフ会議報告、学術講習部事業報告、学術大会部事業報告、第30回神奈川県理学療法士学会準備委員会報告、第32回関東甲信越ブロック理学療法学会査読者候補推薦について、第31回神奈川県病院学会報告、第2回関東甲信越ブロック学会運営検討委員会報告
- ・社会局：第8回理事会事業報告書、神奈川県医療専門職連合会報告、会員ライフサポート部事業報告、スポーツ支援・健康増進部事業報告、環境支援部事業報告、介護保険部事業報告、神奈川県訪問リハビリテーション振興委員会（仮称）準備委員会について、訪問リハビリテーション促進プロジェクト（案）、研修会・講習会参加規程につ

いて、発達障害支援部事業報告、公益事業推進部事業報告、職業講和講師推薦について（横浜市立仲尾台中学校・横浜市立寺尾中学校）、厚木市経過健診事業理学療法士推薦依頼について

VI. 回覧資料

年賀状発送先リスト

VII. 議事内容

- (1) 会長挨拶・会長行動報告
- (2) 2012年度第7回理事会議事録承認（承認）
 - ・2012年度第7回理事会議事録が承認された。
- (3) 中間監査（報告）
 - ・井上監事より10月21日（日）に開催された「中間監査」についての報告があり、飲食店での会議費の請求や、講習会名を内容が分かるように変更する等の口頭での補足があった。
 - ・指摘事項について改善が完了後、山口事務局長に報告することが確認された。
 - ・定款および法人法を理解し、定款内の文言や「業務執行理事会」「理事会」の進め方等を神奈川県・会計士・司法書士に確認しながら法人移行準備をするように指導があった。
- (4) 次年度事業計画、予算案策定の準備（報告・意見交換）
 - ・事務局より改定版6号様式に記入した次年度予算調書および事業計画を11月26日（火）までに提出して欲しいとの話があった。
- (5) 各局・部・委員会報告（承認）

1.事務局

①会員異動報告、入会者の承認

- ・前回理事会より入会手続きのあった9名が承認され、転入6名、転出4名、休会3名（新規）、復会2名、退会59名、県内異動33名があり、11月20日現在の会員数が3,695名であることが報告された。
- ・賛助会員は現在11社であることが報告された。

②各種団体よりの依頼事項の件

- ・神奈川県臨床工学技士会より「人工呼吸器セミナー」への後援依頼があり承認された。
- ・神奈川県体育協会より「平成24年度トレーナー研修会（後期）」への後援依頼があり承認された。
- ・神奈川県介護支援専門員協会より「第11回神奈川県介護支援専門員研究大会」への後援依頼があり承認された。
- ・厚木市より「平成25年度厚木市経過健診」事業への会員推薦依頼があり、渡邊まさえ氏（自宅会員）渡邊観世子氏（国際医療福祉大学）堀千登勢氏（鶴巻訪問看護ステーションいせはら）を推薦することが承認された。
- ・川崎市より「川崎市介護認定審査会委員」の推薦依

理事会報告

頼があり、社会局で調整することとなった。

- ・横浜市立仲尾台中学校より「職業講話事業」への講師推薦依頼があり、本杉直子氏（横浜市東部地域療育センター）を推薦することが承認された。
- ・横浜市立寺尾台中学校より「職業講話事業」への講師推薦依頼があり、稲井美保氏（介護老人保健施設フォーシーズンズヴィラいろどり）を推薦することが承認された。
- ・相模原市より「介護認定審査会委員」の推薦依頼があり、社会局で調整することとなった。
- ・日本理学療法士協会より「第31回協会賞」候補者の推薦依頼があり、表彰審査委員会で調整中だが、昨年同様該当者なしになる見込みとの話があった。
- ・日本理学療法士協会より「提案型管理者育成を目指したワークショップ」への参加者推薦依頼があり、介護保険部および医療保険部より1名ずつ推薦することとなり、研修会終了後、報告会等を行うことを条件として費用は本会負担となった。

③各部事業報告

a) 広報部

- ・広報活動を委託している業者の見直しについて、最近の収支決算書等の資料を検討した結果、3回目取材分をホームページに掲載後、契約を終了することになったとの報告があり承認された。
- ・今後の活動については業者の選定等を再度検討していくこととなった。

b) ウェブサイト管理部

- ・ホームページリニューアル作業について進捗状況の報告があり、現在契約に向け準備中であることが報告された。

c) ニュース編集部

- ・情報掲載依頼が多くなって、情報が混在してミスが目立ってきている状況もあり、情報掲載基準の整理を検討中であることが報告された。
- ・情報掲載基準の整理をするにあたり、掲載情報量の制限や有料化を検討してはどうか等の意見が出された。

④その他

- ・職員就業規則（案）および賃金規則（案）が提案され、承認された。
- ・公印管理規程、旅費規程および個人情報保護規定の修正案が提案され、承認された。

2.学術局

①各部事業報告

a) 学術講習部

- ・小山理事より10月27日（土）に開催された「日本理学療法士協会研修部関東甲信越ブロック協力ス

タッフ会議」について報告があった。

- ・10月21日（日）に横浜市立大学医学部のへボンホールにて「平成24年度リーダー研修会」が開催され、受講者が74名であったとの報告があった。
 - ・次年度講習会講師との日程調整中であることが報告され、他部・委員会事業と重複しないように意見交換をしていくことが確認された。
 - ・各部・委員会の事業が重複しないための対策として、事務局で年間予定表を作成してはどうかとの意見があった。
- #### b) 生涯学習部
- ・次年度より新人教育プログラム研修会を神奈川県立保健福祉大学が一般利用できないとの理由で横須賀市文化会館を使用する計画を立てているとの報告があった。
 - ・研修会開催増加に伴い、部員が1名増員されたとの報告があった。
 - ・会員管理システム導入後、経過措置として、23年度以前に発表した学会発表や論文を症例発表として認定作業をしているが年度末で終了することが承認され、会員へ周知することとなった。
- #### c) 学術誌編集部
- ・会報「技術と研究」発行作業の進捗状況が報告され、概ね予定通りであるとのことであった。
- #### d) 学術大会部
- ・神奈川県理学療法士学会（以下、県学会）会場固定化案が提案され、露木理事より補足説明があったが会場固定化について、1つの会場に限定しない方が良い、外部に委託してはどうか等の意見が出された。
 - ・理事会内で出された意見を踏まえ、部内で検討することとなった。
 - ・第31回神奈川県理学療法士学会長に宮本真明氏（淵野辺総合病院）が推薦され、承認された。
 - ・学会開催における運営方針についての報告があり、意見交換がされた。
 - ・学会抄録集の電子化案が提案されたが、非会員聴講者への対応等を踏まえ検討していくこととなった。
 - ・今吉学会長より「第30回神奈川県理学療法士学会」進捗状況の報告がされた。
 - ・第30回県学会会場内で会議等を予定している局・部・委員会は次回理事会までに連絡してほしいとの話があった。

②その他

- ・第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会長より査読者候補推薦依頼があり、推薦予定者の報告があっ



たが、推薦基準に充ちているか等の確認が必要となり、確認後理事会にて報告することとなった。

- ・10月22日に開催された「第31回神奈川県病院学会」についての報告があった。
- ・11月10日に開催された「第2回関東甲信越ブロック学会運営検討委員会」についての報告があった。

3.社会局

①神奈川県医療専門職連合会からの報告

- ・10月19日（金）に神奈川県医療専門職連合会公開セミナーが開催されたとの報告があった。
- ・第7回湘南国際マラソン大会同日開催「からだのケンサ体験パークIN湘南2012」にブース出展し、本会および日本理学療法士協会のパンフレットを配布したとの報告があった。
- ・「第1回首都圏支部第49回関東甲信支部医学検査学会」にブース出展し、本会および日本理学療法士協会パンフレットを配布したとの報告があった。
- ・11月8日に理事会が開催されたとの報告があり、12月31日時点での本会会員数を連合会事務局へ報告するとの話があった。

②各部事業報告

- a) 会員ライフサポート部
 - ・10月28日にウィリング横浜にて会員ライフサポート部主催研修会・交流会が開催され、参加者が58名であったとの報告があった。
 - ・復職支援事業募集案内を理学療法士養成校へ送付したとの報告があった。
 - ・復職支援事業募集案内をハローワークへの持込みおよびPT・OT・STネットへの企業登録については現在調査中であることが報告された。
 - ・今年度実施した「休会会員対象アンケート」結果についての報告があった。
- b) スポーツ支援・健康増進部
 - ・平成25年1月11日に「第4回スポーツ理学療法講習会」が東芝林間病院で開催予定であることが報告された。
 - ・平成25年1月26日に「関東甲信越スポーツメディカルサポート連絡会議」が横浜市スポーツ医科学

センターにて開催予定であることが報告された。

- c) 環境支援部
 - ・12月1日～2日にウィリング横浜にて「PT・OT福祉用具スキルアップ研修会基礎編」が開催予定であることが報告された。
- d) 介護保険部
 - ・10月21日に横浜ワールドポーターズにて「介護保険関連実務者研修会」が開催され、参加者が73名であったとの報告があった。
 - ・神奈川県訪問リハビリテーション振興委員会（仮称）準備委員会立ち上げの事業計画案が出され、意見交換がされた。今後、経過報告を理事会ですることとなった。
 - ・研修会・講習会参加費規定についての提案があり、社会局・学術局合同で検討していくこととなった。
- e) 発達障害支援部
 - ・10月27日に横浜市南部地域療育センターにて「養護学校教諭向け講習会」が開催され、参加者が16名であったとの報告があった。
- f) 公益事業推進部
 - ・11月1日開催「神奈川県公衆衛生学会展示コーナー」へポスターおよびパンフレットを送付したとの報告があった。

4.その他の委員会

- a) 公益法人対策委員会
 - ・平成25年4月1日付公益社団法人移行に伴い、6月に開催される現法人決算総会同日に公益社団法人移行記念パーティーを開催することが承認された。
- ①その他
 - ・秋田会長より2013（平成25）年度会議日程等の予定について、提案があった。
 - ・元衆議院議員山口かずゆき後援会より「政経セミナー2012」開催案内が届き、参加費を本会より出金することになったが妥当金額について、会計事務所に相談することとなった。

以 上



理事会報告

社団法人 神奈川県理学療法士会 2012年度第9回理事会議事録

I. 日 時：2012年12月15日（土） 15：00～18：30

II. 場 所：神奈川県理学療法士会事務所

III. 理事定数：15名

出席理事：秋田 裕、隆島研吾、炭 孝昭、林 克郎、山口泰成、大槻かおる、佐藤史子、坪内敬典、福島 努、惣田 洋、相川浩一、久保雅昭、露木昭彰、小山理恵子、内田賢一

出席監事：安藤徳彦、井上 保

出席部長・委員長：坂本美喜、田中一秀、相馬光一、渡辺裕之、中野靖士、松本 肇、木村充広、田中健康、小野塚慎也、寺尾詩子、伊藤智一、萩原聡、田中さえ子、久保木あずみ、前田 玲、黒水俊吾、南谷 晶

出席者：第30回神奈川県理学療法士学会長 今吉 晃

出席事務職員：小野田誠子

IV. 議長団選任

議長：秋田 裕

副議長、議事録署名人は出席理事より下記のように互選にて選出された。

副議長：林 克郎

議事録署名人：隆島研吾、炭 孝昭

V. 配布資料

- ・2012年度第9回理事会議事案
- ・理事会資料
- ・平成25年度予算
- ・平成25年度予算（全体の8掛け）
- ・平成25年度予算（新規事業なし）
- ・事業計画書・事業報告書（兼予算調書・決算報告書）
（学術大会部 学会会場費資料）

VI. 回覧資料

なし

VII. 議事内容

- (1) 会長挨拶・会長行動報告
- (2) 会員異動報告・入会者承認の件（報告・承認）
 - ・前回理事会より入会2名が承認され、転入4名、転出2名、復会1名、休会5名、退会1名、県内異動17名、2012年12月15日現在の会員数3,694名であることが報告された。
- (3) 次年度事業計画、予算案の審議（報告・審議・承認）
 - ①各部長・委員長より次年度新規（復活）事業及び予算について説明がされた。
新規（復活）事業は下記の通りである。
 - ・介護保険部：訪問リハビリテーションステーション（仮）制度化対策会議
 - ・中途障害支援部：報道では伝えられなかった被災地支援の現実、そして現状
 - ・スポーツ支援・健康増進部：関東甲信越スポーツメ

ディカルサポート合同研修会

- ・スポーツ支援・健康増進部：YOKOHAMAビーチスポーツフェスタメディカルサポート
- ・スポーツ支援・健康増進部：からだのケンサ体験パーク（湘南マラソン）への支援
- ・スポーツ支援・健康増進部：健康増進理学療法講習会
- ・スポーツ支援・健康増進部：港よこはまツアーデーマーチへのメディカルサポート
- ・スポーツ支援・健康増進部：横浜野球肘検診
- ・発達障害支援部：発達障害支援者意見交換会
- ・中途障害支援部：中途障害ミーティング
- ・会員ライフサポート部：第49回日本理学療法士学術大会時企画検討事業
- ・事務局：公益法人移行記念事業
- ・介護保険部：関連職種研修会

上記、新規事業のうちスポーツ支援・健康増進部の横浜野球肘検診事業は見送ることになった。また、会員ライフサポート部の第49回日本理学療法士学術大会時企画検討事業は、会員ライフサポート部の情報発信に組み入れることになった。

本会のロゴマーク募集の懸賞金は、事務局予算に組み入れることとなった。

②各部長・委員長より2013年度予算が本年度予算の1.5倍以上の継続事業について説明された。

説明内容は下記の通りである。

- ・発達障害支援部の養護学校・福祉施設職員向け講習会については、講習会を増やす予定のため予算が多くなった。
- ・スポーツ支援・健康増進部の障害者スポーツ支援に向けた視察については、今年度は視察に行くのみだったが、次年度は車椅子体験等会員に関わってもらう場を設けるため予算が多くなった。会議費、旅費交通費に関してはスポーツ支援・健康増進部全体で考え予算を削減するように検討する。
- ・臨床実習教育部の臨床実習教育研修会については、他県からの講師交通費増大のため予算が多くなった。ただし、ワークショップ予算削減のため臨床実習部全体の予算は前年度とあまり変わらない。
- ・スポーツ支援・健康増進部の小田原ツアーデーマーチへのメディカルサポートについては、ポスター等広報活動のため予算が多くなったが、会議費、旅費交通費に関してはスポーツ支援・健康増進部全体で考え予算を削減するように検討する。
- ・会員ライフサポート部の復職支援事業については、復職支援が必要な人に情報を届ける広報活動に力を入れるため予算が多くなったが、参加費収入も見込



めるので収入を増やすことが可能である。

・社会局の社会局会議については、会議を2倍くらいに増やす予定のため予算が多くなったが、実際は会議に全員参加しないことが多いので予算削減も可能である。

③各部・委員会より提出された予算を集計すると、収入より支出が約1千万円多いため、全体の予算を見直す必要がある。全体の予算の83%程度の金額になるよう各局内で調整し、予算調書を平成24年12月25日までに再提出することとなった。また、収入や事業名に関しても再検討し、予算調書に盛り込むこととなった。

④隆島副会長より公益法人に移行後は年間4回の理事会

のたびに決算書を作成し、事業の進行状況の把握をすることが提案された。

⑤次年度以降、予算の立て方（各局に分配する金額の提示等）の検討をする必要があるとの意見が出された。

(4) その他

・厚木市経過検診の会員推薦依頼については、推薦する人員の中に入会手続き中の者が1名いるが、その者を含め担当者に予め通知し、入会手続き完了後に回答文書を発送することとした。

以上



Daiwa House
大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL® 福祉用は全国で稼動中。
デモンストレーション好評受付中！

お住まいのことからロボットまで。
お気軽に下記までお問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進部 ロボット事業推進室

メンタルコミットロボット
パロ 好評癒し中。



結(ゆい)訪問看護ステーション
小田原市堀之内194-4

地域リハビリテーションセンター
小田原市堀之内253-1

児童デイサービス Well
予防専門デイサービス Well
小田原市久野469

<http://business4.plala.or.jp/ashiriha>

在宅生活を支える

足柄リハビリテーショングループ

ARS

看護とリハビリテーション
のことなら何でも

看護師・PT・OT・ST
募集

医療・介護・自立支援法
地域支援事業など

是非一度
見学にいらしてください！





「どれだけ患者様のことを考えるか」

理学療法士として働き始めてから、早くも3年が経とうとしています。私は就職してから、1、2年目は回復期病棟で働き、3年目の現在は通所リハビリで働いています。回復期病棟では、「自宅復帰」を大目標として、主に患者様の身体機能の向上を目指してリハビリを導入してきました。通所リハビリでは、実際に自宅で生活している方が対象であるため、身体機能の向上だけでなく、社会参加への支援を考慮するようになりました。2つの場所での経験を経て、同じように理学療法を提供していても、患者様、利用者様は理学療法士に対するneedsは一人一人違うことが、少しずつですがわかるようになってきました。理学療法士が活躍している場として、病院、クリニック、老健、通所リハビリなどがあり、急性期、回復期、維持期などに分かれていると思いますが、それぞれの場所で理学療法士に対しての役割は違うものではないかと考えるようになりました。しかし、自分がどのような場所、分野で活躍できるかは、未だに明確とならない問題であり、明確とならないことがもどかしい現状でもあります。

そんな中で、3年目となり理学療法士をやっていて良かったと思えることもありました。それは、回復期病棟に入院されていた方の御家族様からお手紙を頂いたこ

とでした。入院してきた頃には介助量が多く、とても御家族様だけの介助では自宅へ帰ることは難しい状態でした。しかし、御家族様は毎日病院へ通い、毎日リハビリを見学して頂き、何とか良くなり一緒に生活をしたいという気持ちが伝わってきました。そんな患者様、御家族様の力になれたらと私も一生懸命考えリハビリを提供し、そしてその患者様は奥様の一人介助の下でも家に帰ることができました。お手紙には、「仕事に対する姿勢、熱意、心遣いは素晴らしいもので、今日まで私達の夫婦の光や杖となり、心の支えになって下さった事は一生忘れません」とありました。大学時代の実習の頃より、「どれだけ患者様のことを考えることができるか」ということをパイザーの方から教わり、ずっとそのことだけは忘れないように取り組んできました。そういった姿勢を患者様、御家族様に評価して頂いたことは、理学療法士をやっていて良かったと実感できました。

もうすぐ4年目となり、自分の専門分野という部分も考えていけなくてはいけないと思います。しかし、患者様、利用者様にとっては自分の身体や生活を支えてくれる一人の担当セラピストであり、どのような場所、分野に進んでいくとしても、「どれだけ患者様のことを考えることができるか」ということだけは忘れず、今後もリハビリを提供していきたいと思っています。頼ってもらえるのに、何もできない理学療法士にはなりたくない。今後も色々なことを学び、自分のベストを尽くしていきたい。

新横浜リハビリテーション病院 弓川大地



ヒトの体の不思議

—首と頸—

「クビ」を漢字変換すると首・頸（頸）がでできます。解剖学的（生物学的）には「頸」を使い、「ケイ」と読みます。「頸」は体幹の頸だけ

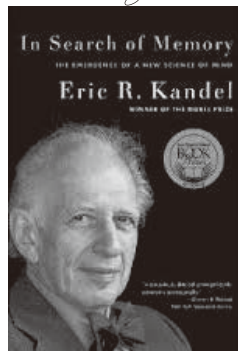
でなく、細くなったところ、大腿骨頸などにも使われます。

ヒトの脊柱を構成する椎骨の種類と数は？試験問題のようですが、成人では頸椎7個、胸椎12個、腰椎5個、仙骨1個、尾骨1個の計26個ですね。頸椎の数は哺乳動物では7個、首の長いキリンも、首の分らないクジラも7個と習いました。変わりものはナマケモノで6個（ホフマンナマケモノ）あるいは9個（ミユビナマケモノ）あるようです。骨格標本があれば確認したいものです。このナマケモノ、木から落ちないというご利益にあずかろうと、合格祈願の動物にもなっているようです。

形の特徴から第1頸椎を環椎、第2頸椎を軸椎、第7頸椎を隆椎ともいいます。環椎の「アトラスAtlas」はギリシャ神話の神アトラスが天空（頭蓋）を支えている様から命名されています（命名者はベサリウス）。ギリシャ神話の神で有名なのはアキレス（腱）ですね。アトラスは地図帳もさします。これは地図帳の巻頭にアトラス神を描いたことに由来するようです。本のタイトルにある「人体解剖アトラス」などはヒトの身体地図帳そのものを表していますね。

ヒトの脊柱の特徴は頸部と腰部に前彎（二次彎曲）があることです。これはヒトが直立二足歩行をおこなうことによる特徴です。四足動物の脊柱は全体に後彎しています。しかし、直立二足歩行のデメリットの代表として椎間板ヘルニアがあります。椎間板ヘルニアは腰部だけでなく、頸部にも起こります。「頸」の健康にも注意しましょう。

昭和大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治
神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和



著者 ▶ Eric R. Kandel
TITLE ▶
In search of memory
The emergence of a new science
of mind

かの2000年の医学生理学賞受賞者、エリック・カンデル博士の自叙伝(2007年)である。日本人の医学生理学賞受賞の喜ばしいニュースが最近あったばかりで、ノーベル賞受賞者の書籍を読みたいと思った次第である。ならば我が国の財宝「ブルーバックス」でもいいじゃないかという声も聞こえてきそうだが洋書を選んだのである。さて、博士の功績は、細胞レベルで記憶が成り立つ生理学的な説明基盤を与えたことにある…らしい。ここで「らしい」というくらいにしか書けない自分もどかしいが、何せ、まだ全部読んでいない(平成25年2月4日時点で99ページ目、429ページまで十分に楽しめる量が残っている)。

博士がユダヤ人の家庭に生まれた頃の、ナチスが圧倒的な支配力を発揮していたオーストリアのウィーンの情景から書きだされている。道路磨き強制労働?など、ユダヤ人が屈辱に耐えた頃の激動の記憶だからなのか、博士が聞かれた声や音までもが伝わってくる程に、記述が詳細である。しかしそのタッチは感傷的というより、極めて綿密な科学者の観察記録だ。その抑制がかえって、幾多の苦労を経てアメリカ・ニューヨークに家族そろって移住できたときの爆発的な喜びを当時9歳の少年は感じていたのだろう、と

読ませてしまう。

フロイトの精神分析に傾倒していた博士が、細胞レベルの神経生理学研究へ大舵を切ったのは、1955年にコロンビア大学の神経学Harry Grundfest教授の門下生となった時だという。idやegoの生物学的基盤を知りたい!と主張する学生カンデルに、Grundfest教授は優しくこういった。Understanding the biological basis of Freud's structural theory of mind was far beyond the grasp of contemporary brain science... to understand mind we need to look at the brain one cell at a time.

博士は、実にごっかりされた。そりゃそうだ。卒業研究の計画立案を思い出すまでもなく、夢大きく膨らむ期待に針の突き、これで我慢しなさいと言われたような到底納得できない感覚は、私達の記憶にもある。ただ学生カンデルの素晴らしいところは、すぐさまフロイトの経歴という記憶を想起されているところである。あの偉大なフロイトも細胞レベルの実験つまり脳の基本構造の探究から出発し、そして後になって、ウィーンの街で患者を診察する日々になって、あの精神分析にたどり着いた。Grundfest教授のその言葉のお陰で、個から全体へと向かう「ボトムアップ」という遥かな旅に、勇気を持って踏み出せたという。

そう、全体は個々の総和以上のものであるというシステム論が思い出される。要素還元主義の限界を、昨今の世界はありありと見せてくれている。しかし、だからといって実験分析的科学の威力を否定できるわけではあるまい。ばらばらになりそうな私達をつなぎとめるのは記憶である。私達は向かう全体の記憶を今一度思い出すときのだろう…要素還元主義カンデル博士の細胞の旅が辿り着く先はどこだろうか、続きを読もう。

昭和大学保健医療学部理学療法学科

山崎 弘嗣



<p>いつでも前向きに 生きていたいあなたへ。</p> <p>「がん」「心疾患」をはじめとする生活習慣病や、交通事故によるケガが心配な現代では、万が一のための備えがあれば安心です。いつでも前向きな気持ちで過ごすために、一生涯の医療保障を準備しませんか?</p> <p>\\新登場/ 生きるためのがん保険 Days</p> <p>もっと頼れる医療保険 新EVER</p> <p>エヴァー</p>	<p>◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。</p>	<p>■募集代理店 国際保険株式会社</p> <p>〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F TEL : 0120-5931-98 FAX : 0120-5544-23</p> <p>■引受保険会社 Affac アフラック 首都圏総合支社 (アメリカンファミリー生命保険会社) 〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7新宿7F・2F・11F TEL : 03-3344-1580 FAX : 03-3344-2028 AFP069-2010-0059 3月17日</p>
--	---	---

求人案内

医療法人社団 山本記念会 山本記念病院

理学療法士募集

横浜市都筑区に位置する当院は、一般床と療養床を有する131床の地域密着型の病院です。同法人には、通所リハ、訪問看護、クリニック、デイサービスなどを有しており、地域に根差した医療を提供しております。勉強熱心なスタッフが多数、他職種とも積極的に関わりチーム医療の実践に力を入れています。今回は元気でやる気のある方を募集しております。

募集人数：若干名

資格：理学療法士

勤務内容：入院と外来患者様に対する理学療法業務

勤務時間：常勤：8：45～17：15

パート：勤務時間・曜日応相談

休日：4週7休制、日曜、祝祭日、年末年始、夏季休暇、慶弔休暇

待遇：基本給、調整手当は当法人の規定による。社会保険完備、有給休暇あり、車・バイク通勤可能、制服貸与、食事代補助
交通費支給、学会などの研修費補助、賞与年3回（前年度実績）、昇給年1回、退職金制度あり。

勤務地：東急東横線 日吉駅から東急バス「高田町」下車で徒歩1分
横浜市営地下鉄 グリーンライン「東山田」下車で徒歩20分

概要：131床（一般床49床、療養床82床）

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を持参

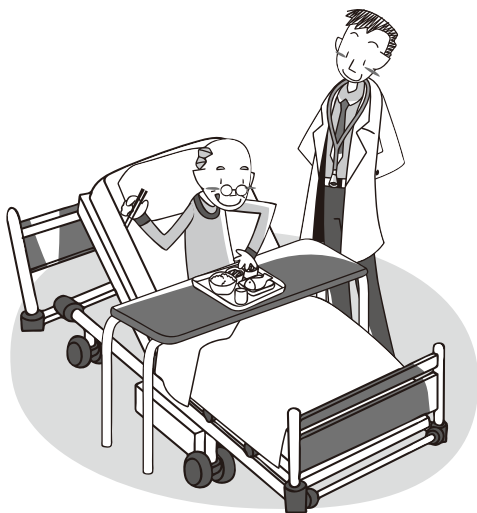
連絡先：〒224-0024 横浜市都筑区東山田町1552

TEL：045-593-2211（代）

担当：リハビリテーション科 関

メールアドレス：rehabili@yamamoto-kinen.or.jp

URL：http://www.yamamoto-kinen.or.jp/



医療法人 三喜会 鶴巻訪問看護ステーションしづさわ

理学療法士募集

近年、地域の高齢化や在院日数の短縮により訪問リハビリの需要が拡大しています。それに伴い訪問リハビリの依頼が増えているため、理学療法士を募集しています。当ステーションは、「訪問看護」「居宅介護支援センター」「地域包括支援センター」が隣接されているため、連携が密にとれる環境です。訪問リハビリに興味のある方、見学ご希望の方は、お気軽にお電話下さい。

募集人数：常勤、非常勤 若干名

資格：理学療法士

勤務内容：訪問リハビリ

勤務時間：9：00～17：30

休日：土日、年末年始、夏季休暇

待遇：233,900円～

勤務地：秦野市本町1-11-19(小田急線秦野駅より徒歩7分)

概要：訪問看護ステーションでの訪問リハビリ業務

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付して下さい。

連絡先：〒257-0035 秦野市鶴巻北2-14-2

TEL：0463-76-1515

担当：事務統括本部 関口、諸星

メールアドレス：tsurumaki@tiara.ocn.ne.jp

URL：http://www.sankikai.or.jp/houkan/shibusawa/

東太田リハビリ訪問看護ステーション

理学療法士・作業療法士募集

提携医院と共同で運営する通所リハのオープニングスタッフ及び弊社運営の訪問看護ステーションのスタッフ募集です。理学療法士・作業療法士・看護師の連携が密な事業所として安心安全の医療の提供を心掛けています。子育てや介護が必要な方にも働きやすい職場を目指しています。お気軽にご相談ください。

募集人数：常勤・非常勤 若干名

資格：理学療法士・作業療法士

勤務内容：通所リハまたは訪問看護ステーションにおけるリハビリテーション

勤務時間：9：00～18：00（非常勤：ご相談ください）

休日：土日・祝日・夏季休暇・年末年始

待遇：当社規定（経験者優遇）、有給休暇有り、賞与年2回（実績）社会保険完備・交通費全額、社外研修費支給

勤務地：横浜市鶴見区

概要：飯山医院併設通所リハ
東太田リハビリ訪問看護ステーション

応募方法：電話連絡の上、写真付き履歴書を送付

連絡先：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-43-4-501

TEL：045-500-1855 FAX：045-500-1870

担当：総務 宮里

メールアドレス：higashiota@cream.plala.or.jp

URL：http://hrs.main.jp/

求人案内

医療法人社団 健齡会 ふれあい東戸塚ホスピタル

理学療法士募集

豊かな森に囲まれた当施設は平成19年4月開院以降、回復期リハビリテーションをはじめ、人工透析・在宅医療サービス（訪問リハビリ）等の多岐にわたるリハビリテーションを患者様の需要にあわせて提供しております。今後も地域・患者さまのニーズに応えるべくより一層のリハビリの充実を図っており、広く人材を募集しております。

募集人数：常勤 若干名（新卒・既卒）

資格：有資格者及び取得見込者

勤務時間：8：30～17：00

休日：週休2日（年間105日）、特別休暇（夏季、慶弔）

待遇：基本給、調整手当は、規程による。

社会保険完備、有給休暇有り、昇給年1回、賞与年3回

交通費全額支給（上限：50,000円/月）、職員用駐車場有

勤務地：JR横須賀線「東戸塚駅」より無料シャトルバス5分

概要：【施設基準】脳血管（1）・運動器（1）・呼吸器（1）
【病床】25床（回復期リハ）、28床（療養）、97床（障害者施設等一般）
リハビリテーションセンター（約400㎡）、人工透析センター（27床）

応募方法：電話連絡の上、面接日を随時設定いたします。
下記ホームページ（URL）からもご応募いただけます。

連絡先：医療法人社団健齡会 ふれあい東戸塚ホスピタル
〒244-0806 横浜市戸塚区上品濃16-8
TEL：045-827-2637 FAX：045-827-2647

担当：総務課 中島・伊藤

メールアドレス：ht-hosp@fureai-g.or.jp

URL：http://www.fureai-g.or.jp/ht-hosp/

医療法人社団 西奈会 介護老人保健施設 葵の園・小田原

理学療法士・作業療法士募集

平成24年12月に新規オープンしたばかりの介護老人保健施設であり、入所・短期入所療養介護・通所リハビリテーションがあります。定員は入所80名、通所30名でスタートしました。平成26年4月には、120床増床の予定で施設全体で200床になります。小田急線沿いの新しい大きな和風調施設です。増床前ですが、リハビリがメインの介護老人保健施設なので理学療法士・作業療法士を増員いたします。

募集人数：常勤 非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：施設入所者及び通所リハビリテーション利用者のリハビリ

勤務時間：常勤：8：30～17：30

非常勤：勤務日数、勤務時間の相談に応じます。

休日：年間111日

待遇：基本給、調整手当は、規程による。社会保険完備、有給休暇有り。

通勤手当：上限あり30,000円まで。

勤務地：神奈川県小田原市曾比1350

最寄駅：小田急線・栢山駅もしくは開成駅より徒歩15分

概要：入所：80名、短期療養介護：空所利用型、通所リハビリテーション：30名

応募方法：電話連絡の上、面接実施

連絡先：〒250-0851 神奈川県小田原市曾比1350
TEL：0465-39-0115 FAX：0465-39-0116

担当：事務長 湯沢

メールアドレス：aoinosonoodawara@hotmail.co.jp

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

義肢・装具・車椅子・座位保持・住宅改造

SP-i

(有)湘南義肢研究所

時代のニーズに合わせた義肢・装具づくり

例えば、金属支柱付靴型下肢装具を一枚の皮から全てフルオーダーで作り上げます。納期は最短一週間。我々はそういう会社です。

横須賀市小川町27

tel 046-822-6722

fax 046-822-6425

http://sp-i.co.jp

求人案内

(財)厚生年金事業振興団 湯河原厚生年金病院

理学療法士募集

緑豊かに囲まれた温泉地の歴史ある病院で一緒に働きませんか。見学は随時、受付しています。まずは、ご連絡をお願いします。

募集人数：若干名

資格：理学療法士免許取得者又は、取得予定者

勤務内容：月曜日～金曜日勤務（但し、土、日、祝日は交代で勤務あり）

勤務時間：8：30～17：15（休憩45分）

休日：土、日、祝日、年末年始

待遇：新卒者（3年卒基本給：176,300円）
（大卒基本給185,300円）+特別調整20,000円
※既卒者は、上記に経験年数分を考慮
※別途、規定による扶養、住居、通勤手当の支給あり
賞与 年2回 昨年実績3.9ヶ月

勤務地：JR湯河原駅よりバスと徒歩で約10分

概要：施設基準：脳血管リハ、運動器リハ、呼吸器リハ
応募方法：電話連絡のうえ、新卒者「履歴書（顔写真付）」「成績証明書」「卒業見込み証明書」
電話連絡のうえ、既卒者「履歴書（顔写真付）」「職務経歴書」「理学療法士免許の写し」

連絡先：TEL：0465-63-2211

担当：庶務課 人事担当 薄田（うすだ）

メールアドレス：hs_yugawa@kjp.or.jp

URL：http://www.yugawara-hosp.com/

社会福祉法人聖隷福祉事業団 介護付有料老人ホーム横浜エデンの園

機能訓練指導員募集

医療・保健・福祉・介護サービスを全国で複合的に展開している日本最大規模の社会福祉法人聖隷福祉事業団が2010年4月に新規開設した要支援・要介護者を対象とした介護付有料老人ホームです。定員50名の小さくアットホームな有料老人ホームです。「ひとりひとりの笑顔のために」をモットーに、全職員他職種が連携してお一人おひとりへあたたかいケアの提供ができるよう目指しています。

募集人数：常勤1名（非常勤は応相談）

資格：有資格者

勤務内容：ご入居者への機能評価や個別リハビリプログラムの作成及び個別・集団リハビリの実施

勤務時間：常勤：9：00～17：30 非常勤：応相談

休日：週休2日、年末年始休暇、厚生休暇

待遇：給与：当事業団規程による（経験加算あり）

諸手当：扶養、住宅、通勤手当
昇給：年1回 賞与：年3回 退職金：勤続1年以上
財形貯蓄その他諸制度あり

勤務地：JR横須賀線保土ヶ谷駅より徒歩13分

概要：介護付有料老人ホーム（要支援・要介護）

応募方法：電話又はメール

連絡先：TEL：045-730-5345

担当：運営管理課 請川（うけがわ）

メールアドレス：ukegawa@sis.seirei.or.jp

URL：http://www.seirei.or.jp/eden/yokohama/

医療法人社団亮正会 総合高津中央病院

理学療法士募集

同法人施設内に、老健施設 訪問看護 訪問介護 デイケアセンター併設 大卒初任給226,700円 中途採用者は、別途経験加算あり。

募集人数：1名

資格：新卒及び既卒者

勤務内容：運動器 脳血管 呼吸器における入院及び外来リハビリテーション

勤務時間：日勤8：45～17：30 土曜日8：30～12：30

休日：法定休日 祝日 年単位変形労働時間勤務
夏季休暇3日 リフレッシュ休暇1日

待遇：中途採用者は、初年度契約社員にて次年度常勤登用制度あり

勤務地：川崎市高津区溝口1-16-7

応募方法：写真つき履歴書郵送

連絡先：人事部人事課へ TEL：044-822-6578 人事課 直通電話

担当：人事課長 みさき

メールアドレス：m-misaki@takatsu-hsp.jp

URL：http://www.takatsuhosp.or.jp/

ケアーズ宮前 訪問看護リハビリステーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士募集

1月に新規開業した新しいステーションです。やる気のある方お待ちしています！

募集人数：各職種 若干名

資格：有資格者

勤務内容：訪問看護（在宅におけるリハビリテーション）を担当する

勤務時間：常勤 9：00～18：00
非常勤 応相談

休日：週休2日、年末年始休暇、夏季休暇

待遇：月給30万円～ 社会保険完備・交通費全額支給

勤務地：東急田園都市線 鷺沼駅または宮前平駅よりバス3分（車通勤可）

応募方法：電話・E-mailにてご連絡ください。

連絡先：川崎市宮前区土橋4-12-10 東名ビル3階
TEL：044-863-9956

担当：大谷（オオタニ）

メールアドレス：info@kango-buddy.com

URL：http://www.kango-buddy.com/

求人案内

株式会社 ファンコーポレーション

理学・作業療法士・言語聴覚士募集

PT設立の法人として22年の実績があります。医療機関で終わらないリハビリテーションを訪問・通所事業を通し、地域を包括的に支えていくためには今後さらにイノベーションが必要です。地域リハビリテーションに興味がある方、チャレンジしたい方、また事業所の管理・運営などもチャレンジしたい方、とくに幹部候補となり責任ある仕事を取り組みたい方で連絡をお待ちしています。訪問・通所の見学は随時歓迎いたします。

募集人数：常勤 PT 3名 OT 3名 ST 1名
非常勤（週2日以上）若干名

資格：有資格者

勤務内容：地域リハビリテーション（訪問看護ステーション・通所介護）

勤務時間：勤務体制は2パターンあります。

a、常勤 8：30～17：30（完全週休2日制）

b、常勤 月～金8：45～17：15

土9：00～15：00（隔週）

非常勤 常勤勤務時間内フリー

休日：a、日曜・公休日1日 年末年始5日

b、日曜・祭日・隔週土曜 年末年始5日

待遇：給与 260,000円(新卒)～450,000円

交通費別途支給 賞与 年3回 インセンティブ有

有給休暇有 社会保険完備 401K対応事業所 退職金制度有

リゾートホテル法人契約

各種クラブ活動など福利厚生充実してます

社内・外研修制度有 幹部候補報酬アップ制度有

勤務地：相模原市中央区淵野辺・南区相武台

概要：訪問看護ステーション 2ヶ所

通所介護施設 6ヶ所

応募方法：メール・電話にて連絡の上、履歴書送付して頂き、面接をいたします。

連絡先：TEL：042-758-8381

担当：総務 緑川

メールアドレス：info@fan-net.co.jp

URL：http://www.fan-net.co.jp

医療法人順正会 横浜鶴ヶ峰病院

理学療法士、作業療法士募集

本院は横浜市旭区の鶴ヶ峰にある地域に根ざした151床の病院です。整形外科手術に特化した病院で、年間の手術件数も多く、術後早期からの積極的なリハビリテーション提供を行っています。また、膝関節専門の整形外科医師が常勤であり、TKA術後フォローも多いことが特徴です。この度、リハビリテーション科改装に伴い、業務拡大のため、新規スタッフ募集します。急性期や整形外科に興味のある方、施設見学ご希望の方など、ぜひお気軽にお電話下さい。

募集人数：若干名

資格：理学療法士、作業療法士（有資格者）

勤務内容：入院および外来患者様に対するリハビリテーション業務

勤務時間：常勤・平日=9：00～17：15

・土曜日=9：00～14：30

休日：日曜日、祝日、月2回指定休、創立記念日、年末年始

待遇：基準内賃金、基準外賃金は、賃金規程による
社会保険完備、有給休暇あり
交通費全額支給

勤務地：相鉄線、鶴ヶ峰駅より徒歩8分

施設基準：運動器（I）、脳血管（III）

概要：病床数108床の急性期病院、常勤理学療法士5名

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒240-0011 横浜市旭区川島町1764番地

TEL：045-371-2511 FAX：045-381-1750

担当：人事総務課 元国

メールアドレス：jinji-s@tsurugaminehospital.com/

URL：http://www.tsurugaminehospital.com/



あなたのニーズをかたちにします
義肢・装具・車いす・座位保持装置etc



(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

求人案内

横須賀市社会福祉事業団

理学療法士募集

老人デイサービスセンター利用者の機能訓練担当者としての募集です。短時間勤務なので子育て中あるいはフルタイム勤務ができない方に理想的な勤務です。

募集人数：臨時職員・パート 各施設1名（3施設同時募集）

資格：理学療法士募集

勤務内容：デイサービスセンター利用者（要介護高齢者）の機能訓練等

勤務時間：10：00～15：00までの間で2～3時間程度
勤務表に基づく月曜日から土曜日で週2日勤務

休日：日曜日

待遇：時給 2,000円+交通費 週2日（1日2～3時間程度）
※勤務時間帯希望については応相談。

勤務地：横須賀市本町、鴨居、長沢

概要：横須賀市立の老人デイサービスセンター（本町、鴨居、北下浦）

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒238-0041

横須賀市本町2-1 横須賀市立総合福祉会館3階

社会福祉法人 横須賀市社会福祉事業団

TEL：046-821-1309 FAX：046-821-6180

担当：本町デイサービス 田村

メールアドレス：nobuaki-tamura@sfj-yokosuka.or.jp

URL：http://www.swc.e-yokosuka.jp/index.htm

むつみの家

理学療法士募集

当法人では診療所とデイケア、デイサービス、訪問診療を行っております。利用者様の身体状況などによりそれぞれの部門でカバーし、多くの方が望んでおられる在宅生活を実現したいと考えております。

募集人数：1人

資格：有資格者

勤務内容：デイサービス部門でのリハビリ

勤務時間：9：00～18：00

休日：日曜・祝日・その他（週休2日）、夏休、年末年始（12月30日～1月4日）

待遇：基本給、調整手当、資格手当（27万円～）、賞与年2回

勤務地：横浜市南区睦町1-8-3

概要：診療所、デイケア、デイサービス、訪問診療

応募方法：電話連絡の上、写真貼付履歴書を郵送してください。（見学もできます！）

連絡先：〒232-0041 横浜市南区睦町1-8-3睦町クリニックビル5F

担当：管理課 加藤

メールアドレス：kato@clinic.or.jp

URL：http://clinic.or.jp

在宅リハビリ訪問看護ステーションTOMO

理学療法士募集

弊社は福岡、宮崎、東京、そして神奈川県で訪問リハビリを行っています。「for the case！」を理念に掲げ、チームTOMO（看護師、理学療法士、作業療法士）として、医療機関の皆様と共に、地域の皆様と共に、利用者様が障害を持ちながらも、前向きに生きていく！お手伝いが出来ればと考えています。見学や勤務条件のご相談等、随時、受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

募集人数：2名

資格：理学療法士免許、普通自動車免許

勤務内容：訪問看護ステーションからの訪問リハビリ業務

勤務時間：8：30～17：30

休日：隔週土曜、日・祝祭日、夏季4日・冬季5日休暇

待遇：■常勤 3,200,000～4,500,000円/年

（年棒制：経験年数により変動）

交通費 月20,000円上限

社会保険及び労災保険加入、昇給あり

□非常勤 1,625～1,700円/時+実績給

（一定件数以上）

交通費 1日1,000円上限

労災保険加入、昇給あり

勤務地：JR『鎌倉』駅/JR・小田急線『藤沢』駅からバスで15分

概要：訪問看護ステーション

応募方法：電話もしくはメールにて連絡の上、履歴書等送付

連絡先：〒248-0027 鎌倉市笛田5-2-5-D1

TEL：0467-38-1818 FAX：0467-38-1819

担当：事務長 長谷川

メールアドレス：tomo-kamakura@trad.ocn.ne.jp

URL：http://human-loop.com



求人案内

パシフィックホスピタル

理学療法士募集

野比海岸を一望できる、豊かな環境に立地した病院です。

募集人数：1～2名

資格：有資格者

勤務内容：病棟業務及び、デイケア・訪問リハビリ業務担当あり

勤務時間：8：30～17：00

休日：週休2日 年末年始休暇、夏季休暇、その他

待遇：基本給、調整手当は規定による。

勤務地：京急久里浜駅からバスで15分 車通勤可

概要：入院ベッド数300床

(一般病床41床、療養病床205床、介護療養型病床54床)

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付。

随時見学可能

連絡先：〒239-0841 横須賀市野比5丁目7番2号

TEL：046-849-1570 FAX：046-849-1520

担当：リハビリテーション科 担当 松田

メールアドレス：pacific-re-habiris@shore.ocn.ne.jp

URL：http://www.pacific-hospital.jp

復職支援実務研修のお知らせ

目的：臨床から離れたことにより復職に不安を感じている方に、現場での研修を通じて自信をつけてもらうことを目的とした研修です。

対象者：離職中の神奈川県理学療法士会会員
(復職先が決まっている方は対象外)

研修先：希望の地域、職域(回復期、訪問リハなど)を元に相談させていただきます

※研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています

期日：5時間×5日間分(連続5日間でなくてもOK。期日や研修の方法は相談して決めます)

1日のみの研修も相談に応じます

受講費：5,000円

申込締め切り：平成25年2月14日

問い合わせ先：下記までメールをお願いします。

詳しくは県士会ホームページをご覧ください

lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

(会員ライフサポート部 寺尾)



求人情報はホームページでも確認できます。

<http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/recruit2/>

やさしさを、医療に科す...
MINATO

NEW

いつでも、どこへでも。
あらゆる場面で活躍する(コードレス型)レーザー治療機。

高い疼痛緩和効果を実現する
LLLT(低出力レーザー治療)

LLLT(Low Level Laser Therapy) 低出力レーザー治療には、神経伝達の抑制、血液の改善、抗炎症などの作用があります。治療中の痛みが少なく、回復速く、高い疼痛緩和効果を発揮する治療法として注目されています。

お問い合わせ：373067200(15000)
東京都港区赤坂 特設展示場/受付係

手動レーザー治療機 ソフトレーザー
SOFTLASERY
JQ-W1

2011年度グッドデザイン賞受賞

GOOD DESIGN

新運動負荷モニタリングシステム
MOBILE AEROMONITOR AE-100i
モバイルモニター(2台・1台)

高精度+携帯性

- 1 心臓/呼吸器/バイパス/リハビリテーション 正確な運動負荷量が処方できます
- 2 ストップ 酸素摂取量を現場で測定できます
- 3 呼吸器/循環器/腎臓 適正な投与エネルギーが決められます

お問い合わせ/請求書発行
ミナト医科学株式会社
URL: <http://www.minato-med.co.jp/>

横浜営業所 TEL: 045(560)3710 〒223-0061 神奈川県横浜市中区日吉7丁目13番1号 FAX: 045(563)3714

編集後記

つい最近新年を迎えたと思ったのに、あっという間に季節が変わってしまいます。今年の冬は関東も大雪に見舞われたり、2月初めには各地で20度を超える気温となったりと、気候の変動が大きかったような気がします。冬の季節の言葉、三寒四温を思い出しました。そして、この2月初めの暖かい日に、私の目と鼻が花粉をしっかり感知しました。関東地方の今年の花粉飛散量は昨年の数倍とか。考えるだけで、くしゃみが出そうです。1月中から薬を飲み始めた方も多いのではないのでしょうか。

さて、3月といえば年度の区切り。各学校では卒業式が行われます。私の所属する大学でも理学療法士を目指して大学生活を送ってきた学生が、今年も社会に出て行きます。彼らの輝く笑顔を見ると、眩しくもあり、日本の未来は明るいのではないか、またそうあって欲しいと思わせられます。

稲葉

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
部長：加賀谷善教（昭和大学保健医療学部）
部員：中村 大介（昭和大学保健医療学部）
山崎 弘嗣（昭和大学保健医療学部）
稲葉 康子（昭和大学保健医療学部）
加茂野有徳（昭和大学保健医療学部）

次号の原稿締め切りは**4月6日**です。

昭和大学保健医療学部理学療法学科（ニュース編集部宛）

FAX 045-985-7584

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願致します。

ー 求人広告掲載についてのお知らせ ー

求人広告はホームページの求人掲載方法からお申込下さい。

ホームページ：http://www.pt-kanagawa.or.jp/
お問合せは下記迄お気軽にお寄せ下さい。

◎宛先

〒220-0003 横浜市西区楠町4番地12 アーリア20 101号

神奈川県理学療法士会 事務局内 広告担当宛

TEL. 045(326)3225 / FAX. 045(326)3226

メールアドレス：kohkoku@pt-kanagawa.or.jp

受付時間：平日 10:00～17:00



神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会HPに掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから

https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



（年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます）

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努